

地域医療構想の進め方(2025プランの更新等)について

【論点①:現在のHCU病床8床の整理について】

○茅ヶ崎徳洲会病院では、コロナ影響下で神奈川県重点医療機関として陽性患者の入院治療により入院患者数の増加、救急件数増加による緊急入院患者の増加及び手術件数増加を鑑み、令和4年10月にHCU病床を8床整備した。

○その際、当該病院は、厚生労働省病床機能報告マニュアル記載の機能については、各医療機関の判断で選択することとなっていたので、開設したHCU病床を急性期として整理しており、病床機能報告でも急性期として報告する予定であった。

○病床機能報告は医療機関の自主的な報告であるものの、県としては、国の病床機能報告マニュアルの例示にあるように、HCU病床は高度急性期として整理するのが望ましいと考えている。

○そこで、当該HCU病床8床の取扱いについて、高度急性期と急性期のどちらで整理するべきか、ご協議いただきたい。

【論点②:2025年に向けた方針の変更について】

○当該病院は、2025年に向けて、急性期124床・回復期8床・慢性期40床の計172床を目指す方針だったが、循環器内科、脳神経外科等の急性期疾患の救急搬送増加に対応する必要がある。

○そのため、回復期病床では対応が困難であることから、2025年に向けて、高度急性期20床・急性期112床の計132床を目指す方針へ見直したいとの意向が示されたため、2025年に向けた方針の変更についても合わせてご

医療機関名称	現在の状況										今後の方針(※2025年に目指す姿)										目標等																					
	一般病床・療養病床										【参考】指定等の状況	一般病床・療養病床										その他																				
	<変更前> 病床機能 2018年					<変更後> 病床機能 2023年						<変更前>					<変更後>					精神病床	感染症病床	病床合計	診療科見直し	特記事項	病床稼働率(%)	手術室稼働率(%)	紹介率(%)	逆紹介率(%)	その他											
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期		休棟中	計	診療項目	常勤職員数	救急病院	緩和ケア病床	地域包括ケア病床	回復期リハビリテーション病棟	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院											高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中
茅ヶ崎徳洲会病院	0	132	0	0	0	132	0	132	0	0	0	132	内科・循環器内科・消化器内科・神経内科・呼吸器内科・外科・消化器外科・乳腺外科・整形外科・小児科・皮膚科・泌尿器科・女性泌尿器科・小児泌尿器科・産婦人科・脳神経外科・麻酔科・リハビリテーション科	医師25.3人 看護職員124.9人 医療技術職65.4人 事務員52.6人 労務職25.1人	○	-	○	-	○	-	0	124	8	40	0	172	20	112	0	0	0	132	0	0	132	-	-	95.0	90.0	30.0	30.0	-
	A:病院(案)										D:変更後										D-C																					
	0	132	0	0	0	132	8	124	0	0	0	132	B:事務局(案)										+20	▲12	▲8	▲40	▲40															
B-A																																										

論点①
令和4年10月に整備したHCU病床8床を急性期と高度急性期どちらで整理するか。

論点②
2025年に目指す姿として、高度急性期20床・急性期112床とすることについて。